

第20回若獅子杯実施要項

○ 大会モットー

- ・ 選手の健康管理が全てのルールに優先します。
- ・ 勝ち負けよりも野球を楽しむことに主眼を置きましょう。
- ・ 罵詈雑言ではなく、叱咤激励で行きましょう。

○ 主催

「若獅子杯実行委員会」

- ・ 実行委員長：金城 勝（夏見台アタックス）
- ・ 大会審判長：深谷 良太（夏見台アタックス）
- ・ 大会事務局：松本 一隆（FTJ）、大谷 友太郎（夏見台アタックス）

○ 参加資格

- ・ 2年生以下によって構成された単独もしくは連合チーム（7名以上で参加可）
- ・ 参加費：3,000円

○ リーグ戦および決勝トーナメント

- ・ 参加チームを4ブロックに分割します。
- ・ 各ブロックの上位2チームが決勝トーナメントに進出します。
- ・ 試合結果については勝利チームが当日中に事務局まで連絡して下さい。
- ・ 決勝トーナメントに進出した8チームが、来年4月以降に開催されるWBC（若獅子ベースボールクラシック）への参加資格を有します。

○ 表彰

- ・ 優勝&準優勝チームには、旗、カップ、賞状、メダル（10個）を授与します。
- ・ 3位チームには、賞状、メダル（10個）を授与します。
- ・ 閉会式には3位チームも必ず出席してください。

○ 大会日程

予定日	内容
10月10日（日）	抽選会（開始18時30分～@web開催）
	開会式 ※今年度は開催を見送ります
10月16日（土） ～12月12日（日）	リーグ戦（各チーム間で調整・実施）
2月上旬～下旬	決勝トーナメント（同上）
3月上旬	決勝戦および閉会式（審判は第三位チームと事務局手配） ※会場は後日手配 ※荒天の場合は延期し3月中には実施

○ 試合形式（特別ルール）

1. バッテリー間13m、塁間21mとする。
2. 主審のすぐ後ろ（2～3m）にバックネットを張り、パスボールを防ぐ。
3. 試合は3回、時間は75分。
時間優先であるが、後攻が負けている場合は当該回裏の攻撃を続行すること。
4. コールドゲームはなし。
5. 試合球は軟式公認J球（トップボールまたはケンコーなど）、各チーム2個提出。
6. ボークはとらない（監督に注意）。
7. 投手は9アウトで交代のこと。（サドンデス回を含む9アウト制限。）
8. 投球練習は、初回5球、次回以降3球とする。投手交代時は5球。
9. 振り逃げはなし。主審は「三振」「フォアボール」を打者に伝えてあげる。
10. 打者は必ずヘルメットを、捕手はヘルメットとプロテクタを着用のこと。レガースは自由。
11. ユニホーム・スパイクの着用は強制しないが、帽子と背番号は必須。
12. 必ずスポーツ保険に加入すること。危険なプレーは厳禁。
13. 審判は両チームより2名出し合い、主審は話し合いで決める。
14. 事前の選手登録は不要。ただしメンバー表は試合前に交換する、用紙は自由。
15. 選手および審判は試合開始予定時刻の1時間前に集合して試合開始に備えること。
16. ランナーコーチは大人でも可。威嚇的な言動はつつしむこと。
17. 同点の場合はサドンデス（1アウト満塁3番打者から攻撃開始）によって勝敗を決する。
この場合、既に交代でベンチに下がった選手の復活は認めない。
サドンデスは1イニングのみとし、なお同点の場合は試合以外の方法で勝敗を決する。
※抽選やコイントスなど、監督間で協議・実施して下さい（選手は参加させない）。
18. 最終的な順位の決定は以下の通り。
 - ①勝利数の多いチームを上位とする。
 - ②勝利数が同じ場合は当該チーム間の直接対戦で勝利しているチームを上位とする。
 - ③前記で決しない場合は、当該チーム対戦時のみの得失点差にて順位を決定する。※この場合、サドンデスでの得失点はカウントしません。
19. 複合素材によるバット（ビヨンド、カタリスト等）は使用禁止。
20. 試合は必ず7名以上で実施すること。
21. 入部1年未満の女子選手に限り、3年生の参加を認める。
22. 上記以外は公認野球規則を適用する。

※感染症対策について

代表者会議にて、ガイドラインを審議・決定いたします。

<基本方針>

以下に沿って開催いたしたく、ご参照をお願いします。

千葉県新型コロナウイルス感染症対策本部2021年9月29日発表

「新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく協力要請等について」

参照 URL <https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/soti46.html>

以上